

会員の声 スプライトはどこに発表すべきかを読んで

山根 弘也 (山口大学院生)

蘆田 太・石川 裕子・城戸 美帆・町田 拓哉 (山口大学学生)

1. はじめに

2005年11月号の佐藤明達氏の「スプライトはどこに発表すべきか」、2006年1月号の矢治健太郎氏の「どこまでが天文教育か」という記事を読んで、山口大学の学生グループで両記事に対する意見交換を行った。意見交換では“会誌『天文教育』にスプライトの発表を載せるべきかどうか”という観点で話し合った。ここでは、出た意見のいくつかを記し、最後にこれらの意見についてまとめたものを述べる。

2. 意見

<意見A>

確かに現段階ではスプライトが天文教育に直接関係しているとは言えない。しかし、ASTRO-HSの観測テーマであったり、金星探査衛星の観測対象であったりと、全く無関係であるとも言えないので、天文に関連した部分の記事については、取り上げて良いのではないかと。近年、天文に限らず科学の分野では、各分野の境界が薄れ、他分野との連携が重要になってきているように思える。こうした中で、スプライトが天文に直接関係がないからといって切ってしまうていいものなのか。むしろ、天文と他分野との境界領域・関連分野にあるものとの連携をもっと密にし、天文教育・普及の裾野を広げていくことも必要なのではないか。

<意見B>

スプライトが将来天文分野で扱う可能性が残っている限り、佐藤氏の「スプライトの投稿は会誌『天文教育』にふさわしくない」と

断ち切ってしまうのはいかななものか。実際、金星における雷放電現象の有無の調査も行われているし、地球のスプライト現象を解明することによって他惑星の現象の解明に役立つかもしれない。スプライトがいかなる現象か、今のうちに関心・知識を持っていれば、スプライトを天文分野で扱うようになった時に取り掛かりやすいのではないだろうか。また、天文との関連性という点では、流星観測機器でスプライトを観測することが出来る事が挙げられる。確かにスプライトは天文現象とは言えないかもしれないが、関連した分野に興味を持ち、知識を広げようとする姿勢は、教育という観点から見れば、推奨されるべきことなのではないだろうか。活動自体を認めるのであれば、天体観測ネットワーク等で行った活動内容を天文の場で報告するのは当然のことのように思う。

<意見C>

スプライトが天文に直接関係するかどうかまだ定かではない時点で、その記事を載せるのはいかななものだろうか。将来、直接関係するようになれば、その時点から扱えばよいのではないかと。また、スプライトに関する知識がどう天文教育・普及につながっていくのかということも疑問に感じられる。ただ、知識がつくだけで終わるように思う。

<意見D>

佐藤氏の意見に賛成。スプライトの発表は『天文教育』誌ではない他の分野で発表すべきである。しかし、ASTRO-HSでの結果・成果等は天文教育・普及の一環として取り上げ

でも構わないのではないだろうか。スプライトがASTRO-HSの観測テーマとなっている以上、その成果は天文分野でも発表すべきであると思う。ただし、本格的な研究成果や論文などは、気象学の分野で発表すべきである。矢治氏が危惧されているように「天文分野が閉鎖的な存在になる」というような状況になってはいけないと思うが、それでもやはりスプライトに関していえば、天文分野とは言い難いので、『天文教育』誌では発表するべきではないと思う。

3. まとめ

山口大学学生グループの意見交換の場では、主に上記のような意見が出たが、どの意見にも共通していたのは、「スプライトは天文分野ではないので研究成果を載せることには賛成できないが、天文分野に関連した事項であれば『天文教育』誌に発表してもいいのではないか」という点である。スプライトは現象としては確かに天文分野以外で扱うべきであろう。そういった点では、佐藤氏の意見に我々は賛成である。しかし、スプライトがASTRO-HSや金星探査機の観測対象になっていることを考えると、この『天文教育』誌が、これからのスプライト観測に出てくるであろう天文分野に関連する様々な成果や活動の報告を行う場であってもいいように思う。この機会に改めて、天文分野が「閉鎖的な存在」にならないように、でも「浮気」はしないように、天文教育・普及を考えていかなければならない。

4. 終わりに

「スプライトはどこに発表すべきか」、「どこまでが天文教育か」といった問題に答えを出すのは難しい。こうして『天文教育』誌を読んでおられるみなさまも様々な意見をお待ちだと思います。我々の学生グループの

中だけでは、なかなかその答えが見えてきません。是非とも、みなさまのご意見をお聞かせください。特に、他大学の学生グループの意見を伺いたいと思います。

参考文献

- [1] 佐藤明達,2005,スプライトはどこに発表すべきか,『天文教育』11月号,p.49
- [2] 矢治健太郎,2006,どこまでが天文教育か,『天文教育』1月号,p.33